

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日
事務事業名	湛水防除施設維持管理事業				事業類型	管理・運営			
担当部課G等	建設部 土木課		建設G		記入者氏名	海野 英樹			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				□ 実施計画対象事業		
	施策名		1 災害に強い環境を整える						
	基本事業名		1 防災対策の強化						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 05	事業名 湛水防除施設維持管理事業	根拠法令			
事業期間	□ 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 降雨による農地の被害を最小限に抑え農業経営の安定を図るため排水機場の維持管理事業					【業務内容】 排水機場の管理・操作				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
冠水の影響のある農地 冠水の影響のある宅地			冠水の影響がある面積	ha	438	438	438	438	438		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
降雨による被害を最小限に抑えるため排水機場3箇所を稼働させる。			冠水防止のための稼働日数	日	5	5	5	5	5		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
大雨等による農地及び宅地が冠水しないようにする。			湛水防除を稼働した日数	日	2	3	5	5	0		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	150	150	150	150	150	150			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	4,448	4,803	5,219	5,850	5,850	5,068			
事業費計(A)		千円	4,598	4,953	5,369	6,000	6,000	5,218			
人件費	正規職員	千円	407	401	401	401	401	0			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	407	401	401	401	401	0			
投入量(A)+(B)		千円	5,005	5,354	5,770	6,401	6,401				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			久慈川への流出する大雨時に農地の湛水被害が発生していたため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			ほ場整備、宅地造成等により久慈川への雨水への流出量が増加していたが、湛水防除施設が稼働することにより農地へ冠水が少なくなった。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			湛水防除を稼働する期間は出水期(4月～10月)としているが、近年の異常気象等により非出水期でも大雨が降っており通年稼働の要望がある。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日		
事務事業名	未登記道路整理事業				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 土木課		用地室用地G		記入者氏名	松本 啓二					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える								
	基本事業名		2 生活道路の整備								
予算科目	一般会計	款	07	項	01	目	01	事業名	未登記道路整理事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成29年度)			
事業概要											
【全体概要】 旧瓜連町で道路用地として取得した土地で、未登記になっているものを登記する。					【業務内容】 未登記となっている土地を公図に基づき復元測量を行い、地権者及び隣接地権者立会いのもと境界確認を実施、登記申請に必要な書類を集め、地権者の承認を得て分筆登記後、所有権を那珂市に変更する。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
未登記となっていた土地				未登記土地総数(A)		筆	184	184	184	184	184
				年度当初未登記土地残数		筆	104	76	62	29	9
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
未登記となっている土地の復元測量を行い、土地の所有者と隣接地の所有者立会いのもと境界確認を実施、登記申請に必要な書類を集め、土地を分筆して、道路部分の所有権を那珂市に変更する。				当該年度登記完了土地数		筆	28	14	33	20	9
				当該年度測量実施土地数		筆	11	19	17	12	7
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
所有権移転登記を行う。				登記済土地総数(B)		筆	108	122	155	175	184
				登記完了率(B/A)		%	58.70	66.30	84.24	95.11	100.00
(2) 投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	1,749	2,865	4,754	3,514	1,125	21,450			
人件費	正規職員	千円	7,010	5,110	5,330	5,330	5,330	1,000			
	正規外職員	千円	0	879	904	904	904	0.40人			
	人件費計(B)	千円	7,010	5,989	6,234	6,234	6,234	6,234			
投入量(A)+(B)		千円	8,759	8,854	10,988	9,748	7,359				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			旧瓜連町で道路整備をしたものの諸事情により未登記のまま残っている土地について、所有権移転登記する必要があった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			事業の進捗に伴い、残っている案件は「相続人が20人以上いる」など、処理が難しいものが増えてきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			現地と公図との合致した登記が不可欠となるが、未相続や境界不同意等の不可事項がなければ早期に未登記を解消して欲しいとの声がある。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	8日			
事務事業名	道路維持補修事業				事業類型	その他						
担当部課G等	建設部 土木課		維持管理G		記入者氏名	川崎 慶樹						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第2章 安全で快適な住みよいまちづくり							
	施策名				6 利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名				4 公共交通の確保							
予算科目	一般会計	款	07	項	01	目	02	事業名	道路維持補修事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 道路の機能維持のための補修及び自治会長等の要望による補修を行う。						【業務内容】 舗装補修、側溝布設、その他維持補修のための設計、積算及び監督。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・道路 ・建設資機材						市道認定延長	m	1,150,824	1,151,231	1,151,231	1,151,231	1,151,231
						主要建設資機材種類数	種類	6	7	7	7	7
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・道路舗装補修(簡易な補修を含む) ・建設資機材の購入及びレンタル ・建設車両の整備						補修実施件数	件	214	229	229	229	229
						建設車両所有台数	台	5	5	5	5	5
						砕石購入量	m3	700	780	780	780	780
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・道路機能を維持し利用者が安全に通行できるようにする。 ・住民及び警察等の道路維持補修要望に迅速に対応できる。						補修実施率=実施件数/要望件数	%	95.1	95.4	95.4	95.4	95.4
						資機材提供件数	件	399	370	370	370	370
						資機材要望対応率	%	98	98	98	98	98
(2) 投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	千円	100,100	41,767	51,315	65,120	0	0				
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	80,300	29,500	36,500	46,300	0	0				
	地方債	千円	4,707	3,449	8,700	0	0	0				
	その他	千円	116,844	119,744	136,254	81,604	128,094	0				
事業費計(A)	千円	301,951	194,460	232,769	193,024	128,094	0					
人件費	正規職員	千円	10,800	12,600	12,600	12,600	12,600	2,000	2,000	2,000	2,000	
	正規外職員	千円	9,640	10,500	10,500	10,500	10,500	4,000	5,000	5,000	5,000	
	人件費計(B)	千円	20,440	23,100	23,100	23,100	23,100	23,100				
投入量(A)+(B)		千円	322,391	217,560	255,869	216,124	151,194					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			市道管理が始まった段階から行っている。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			道路の老朽化が進行している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			道路を利用する人から、早急に補修するよう要望がある。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)				
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	主要幹線道路について、年次計画により維持補修を行う。				
		(予算への反映)				
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし				

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 住民の共有財産であるため、行政が維持管理を行う。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補修要望箇所が多いが、現予算の中で優先順位を決め対応しているため向上の余地はない。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。良好な道路環境を維持するため、廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 良好な道路環境の維持が困難となるため、事業費の削減はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するため、市が負担するのは適当である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	3日		
事務事業名	両宮遊歩道管理事業				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 土木課		維持管理グループ		記入者氏名	植田 徹也					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				□ 実施計画対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		2 公園の適正な管理								
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 02	事業名 両宮遊歩道管理事業	根拠法令					
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 両宮遊歩道の維持管理を行う。					【業務内容】 委託契約事務、軽微な補修業務、要望等の対応						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民 両宮遊歩道			人口		人	55,986	55,887	55,500	55,300	55,100	
			延長		m	500	500	1,400	1,400	1,400	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
遊歩道の清掃、除草及び樹木選定を実施した。			清掃・除草回数		回	200	200	200	200	200	
			剪定・消毒回数		回	1	1	1	1	1	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
安全な公共緑地として確保する。			苦情件数		件	1	1	1	1	1	
			菅谷地区人口		人	20,897	20,986	20,986	20,986	20,986	
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	2,084	1,962	3,864	3,864	3,864	0			
人件費	正規職員	千円	500	550	550	550	550	0.10人			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人			
	人件費計(B)	千円	500	550	550	550	550	0.10人			
投入量(A)+(B)		千円	2,584	2,512	4,414	4,414	4,414				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		水路を暗渠化し、災害時の緊急避難路、緊急車両の進入ルートにするなど上部を遊歩道として活用。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		特になし									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし									

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日		
事務事業名	道路改良舗装事業				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 土木課				記入者氏名	小泉 正之					
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業						
	施策名 6 利便性の高い交通基盤を整える										
	基本事業名 2 生活道路の整備										
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 03	事業名 道路改良舗装事業	根拠法令	道路法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要											
【全体概要】 市道に認定してある道路を対象に、生活道路としての交通の利便を図るとともに、通過交通量の多い道路には自動車・自転車及び歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備及び道路の冠水を解消するための排水路整備を進める。					【業務内容】 ・事業計画及び詳細設計 ・事業説明会、境界立会い等の実施 ・地権者交渉 ・工事費積算及び監督						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
整備の必要性がある市道				計画延長	m	2,020	2,625	1,640	2,400	2,500	
				採択済総延長	m	28,544	33,129	35,000	34,000	33,000	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
関係地権者への通知・説明会の実施・同意確認・測量設計・用地取得・工事実施				改良舗装等工事発注件数	件	8	10	12	12	15	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市道について、地域からの要望に対応した整備を行う(拡幅、舗装、歩道整備)				道路改良率	%	23.39	24.14	24.30	24.50	24.70	
(2) 投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	14,300	15,345	32,500	75,000	80,000	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	86,600	187,840	68,700	165,000	188,000	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	164,162	168,391	99,896	102,855	127,885	0			
事業費計(A)		千円	265,062	371,576	201,096	342,855	395,885	0			
人件費	正規職員	千円	12,200	12,278	12,278	12,278	12,278	218人			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人			
	人件費計(B)	千円	12,200	12,278	12,278	12,278	12,278	218人			
投入量(A)+(B)		千円	277,262	383,854	213,374	355,133	408,163				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			・市の事業実施計画や地元からの要望による。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・地域の要望を考慮し、市道を計画道路、整備基準道路、狭あい道路等の整備グレード分けし行政としての「みちづくり」のビジョンが求められている。また、要望の優先順位の付け方についての厳格性が求められている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・市民が必要としている路線の早期実施、早期完了及び市民が納得できる整備路線の選定の要望がある。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日
事務事業名	河川総務事務費				事業類型	その他			
担当部課G等	建設部 土木課		建設G		記入者氏名	海野 英樹			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				□ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 災害に強い環境を整える						
	基本事業名		1 防災対策の強化						
予算科目	一般会計	款 07	項 02	目 01	事業名 河川総務事務費	根拠法令			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 水害の被害を防ぐための樋管施設の維持管理					【業務内容】 国土交通省より委託を受けた、那珂川・久慈川の樋管の操作・点検				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
堤内地の土地	被害を受ける地区	地区	8	8	8	8	8
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
水害の被害を防ぐため樋管施設の維持管理 那珂川4箇所 久慈川7箇所	管理する樋管	箇所	11	11	11	11	11
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
大雨等による堤内地への水害を防止する。	樋管を操作した日数	日	2	4	5	5	5

(2)投入量の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費	
財源	国庫支出金	千円	751	632	1,380	1,400	1,400	0
事業内 費	県支出金	千円	0	0	0	0	0	1,237
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	296	0	0	0
	事業費計(A)	千円	751	632	1,676	1,400	1,400	1,237
人員費	正規職員	千円	407	401	401	401	401	0
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0
	人員費計(B)	千円	407	401	401	401	401	0
投入量(A)+(B)	千円	1,158	1,033	2,077	1,801	1,801		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	大雨による堤内地への被害を発生するのを防ぐため。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	樋管を操作することにより堤内地の湛水を防ぐための施設(湛水防除機場)を設置している。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	樋管操作を近隣の人に依頼しているが高齢となっており新しい人を探してほしいといわれている。

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日			
事務事業名	両宮排水路整備事業				事業類型	その他						
担当部課G等	建設部 土木課		建設G		記入者氏名	海野 英樹						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業					
	施策名		1 災害に強い環境を整える									
	基本事業名		1 防災対策の強化									
予算科目	一般会計	款	07	項	02	目	03	事業名	両宮排水路整備事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成29年度)			
事業概要												
【全体概要】 両宮排水路(菅谷～田彦)総延長約3,816mのうち未整備区 間(1,282m)を整備し安定した排水処理と、冠水被害を抑制 し安心安全な街づくりをすすめる。						【業務内容】 ・事業計画及び詳細設計 ・地権者交渉 ・工事費積算及び監督						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
冠水の影響がある宅地 冠水の影響がある農地						隣接する宅地数	筆	54	54	54	54	54
						隣接する農地数	筆	284	284	284	284	284
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
改修工事 L=222m						排水路整備延長	m	222	242	320	360	360
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
冠水被害の抑制						整備率	%	44	55	70	80	100
(2)投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業 費	財源	千円	72,000	0	0	0	0	0				
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	149,700	123,000	162,800	171,000	152,600	91,000				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	9,083	6,716	9,695	11,360	20,960	108,061				
事業費計(A)		千円	230,783	129,716	172,495	182,360	173,560	199,061				
人件 費	正規職員	千円	10,868	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000				
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0				
	人件費計(B)	千円	10,868	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000				
投入量(A)+(B)		千円	241,651	140,716	183,495	193,360	184,560					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			降雨による冠水被害が発生するため、冠水被害を抑制するため整備に着手した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			那珂市ではないが、全国的に冠水被害が発生した場合、整備の遅れによる管理責任を問われ、賠償問題に発展する案件が増えている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			隣接する住民からは、整備の早期完成の要望がある。									

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	5月	20日			
事務事業名	都市計画見直し事業				事業類型	一般事務						
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市計画G		記入者氏名	秋山光広						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		7 調和の取れた土地利用を図る									
	基本事業名		1 適正な土地利用の推進									
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	01	事業名	都市計画見直し事業	根拠法令	都市計画法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 平成19年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)					
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
都市計画決定後における事業実施状況と土地利用の状況により、適切な都市施設等の配置を検討し、総合計画、都市計画マスタープラン等の上位計画で位置づけられた都市計画を実現するため、県計画及び水戸・勝田都市計画区域と整合を図りつつ、都市計画の見直しを行うことを目的とする。						都市計画見直し及び都市計画決定手続き業務 都市計画マスタープラン見直し業務						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
関係地権者及び利害関係者						用途変更箇所数(面積)及び市面積	ha	11	976	0	50	10
						地区計画街区道路変更(延長)	m	244	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
都市計画変更 都市計画決定の整備方針の検討						関係権利者説明会の開催数	回	3	0	2	2	2
						市民説明会の開催数(市都マス)	回	0	2	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
都市計画決定・変更について理解をして頂く土地利用の訂正化を図り、良好な市街地の形成						用途変更箇所数(面積)	ha	11	0	0	50	10
						都市計画道路(街区)変更路線(延長)	m	244	0	0	0	0
						都市計画法に基づく勧告数	件数	0	0	0	0	0
						都市計画マスタープラン改訂版策定	件	0	1	0	0	0
(2) 投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,197	1,469	2,000	500	500	0				
事業費計(A)		千円	1,197	1,469	2,000	500	500	0				
人件費	正規職員	千円	5,040	3,880	3,880	4,980	4,980	1,00人	1,00人	1,00人		
	正規外職員	千円	0	620	620	0	0	0.00人	0.20人	0.00人		
	人件費計(B)	千円	5,040	4,500	4,500	4,980	4,980					
投入量(A)+(B)		千円	6,237	5,969	6,500	5,480	5,480					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		都市施設整備に整合した土地利用の多様化のための用途地域の変更と、必要性等について検証し、土地利用規制を図る。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		都市計画の決定・変更により、適切な土地利用が図られる。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		土地利用の有効活用及び現況に見合った、区域区分・用途地域の明確化										

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート			作成日	平成27年	6月	1日			
事務事業名	下菅谷地区まちづくり事業			事業類型	補助事業						
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市整備G	記入者氏名	澤島克彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業			
	施策名			8 魅力ある市街地を形成する							
	基本事業名			1 快適な市街地の整備							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令					
		07	03	03	下菅谷地区まちづくり事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成24年度～平成28年度)					
事業概要											
【全体概要】 災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる広場の整備。市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。				【業務内容】 下菅谷地区計画に基づく、協議会の開催及び地区計画道路の測量設計・用地買収・道路工事。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
道路			計画延長	m	2,380	2,380	2,380	2,380	2,380		
			道路用地面積	m ²	16,280	16,280	16,280	16,280	16,280		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
道路測量設計委託 道路用地買収、物件移転補償 道路改良工事			用地買収面積	m ²	2,860	1,650	2,500	480	990		
			工事延長	m	0	160	195	560	0		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
用地買収を進める 道路改良工事を進める			用地買収進捗率	%	53.3	63.5	78.8	81.8	87.8		
			市街地内の歩道整備延長	m	9,705	10,715	10,850	12,210	12,210		
			市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民	%	72.5	73.0	73.5	74.0	74.5		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源内訳	千円	57,717	4,274	63,295	21,600	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	22,900	27,000	159,500	30,700	31,800	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	29,553	9,945	41,831	104,400	1,700	0			
事業費計(A)		千円	110,170	41,219	264,626	156,700	33,500	0			
人件費	正規職員	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	0			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	0			
投入量(A)+(B)		千円	114,770	45,689	269,096	161,170	37,970	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			区画整理事業で整備する予定であったが、地元住民を主体とするまちづくり協議会を設立し、地区計画策定とともにまちづくりを開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			道路・下水道の整備が進んだことにより、土地利用が進んでいる。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			道路・下水道の早期整備が望まれている。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日		
事務事業名	上菅谷駅前地区まちづくり事業				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市計画G		記入者氏名	椎名健文					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		1 快適な市街地の整備								
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	03	事業名	上菅谷駅前地区まちづくり事業	根拠法令	都市計画法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成14年度～平成30年度)		
事業概要											
【全体概要】 上菅谷駅前地区土地区画整理事業(A=5.9ha)の実施に伴い、関連公共施設(街区公園、緑地、駐車場、公共下水道、雨水排水施設等)の整備を行う。地区の活性化のため街づくり協議会を設立し、地区住民と協働で街づくり活動を推進する。						【業務内容】 区画整理関連施設工事や街区公園等の工事及び街づくり協議会活動支援を行なう。					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
地区内の住民、世帯				地区内の世帯数		世帯	67	70	72	74	76
				地区内の人口		人	235	235	235	235	235
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
区画整理関連公共施設(公共下水道工事・環境整備)工事				公共下水道工事延長		m	0.0	102.1	0.0	0.0	0.0
市管理地除草、街づくり協議会活動支援				環境整備工事		m ²	0	0	0	196	0
				協議会の開催数		回数	4	3	4	4	4
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
協働の街づくりを意識づける事業進捗率				協議会参加者数		人	36	36	40	44	48
				まちづくりに参加する割合		%	15.3	15.3	17.0	18.7	20.4
				進捗率		%	83.0	86.9	91.0	95.0	98.0
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	71,450	26,102	20,000	0	0	0		
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	15,300	0	0	0	0		
		その他	千円	0	730	0	0	0	0		
		一般財源	千円	73,976	6,712	6,225	7,300	10,300	0		
事業費計(A)		千円	145,426	48,844	26,225	7,300	10,300	0			
人件費	正規職員	千円	5,740	1.14人	4,790	0.94人	4,790	0.94人	6,090	1.14人	6,090
	正規外職員	千円	0	0.00人	620	0.20人	620	0.20人	0	0.00人	0
	人件費計(B)	千円	5,740	5,410	5,410	6,090	6,090				
投入量(A)+(B)		千円	151,166	54,254	31,635	13,390	16,390				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			上菅谷駅前地区土地区画整理事業の着手に伴う公共施設整備と地区活性化のため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			事業が終了に近い為、身近な環境への関心が強く街づくり活動への意識が薄くなっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			賑わいの創出。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	1日		
					点検日	平成27年	6月	24日			
事務事業名	菅谷地区まちづくり事業				事業類型	補助事業					
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市整備G		記入者氏名	澤島克彦					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		1 快適な市街地の整備								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法、地区計画				
		07	03	03	菅谷地区まちづくり事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成24年度～平成28年度)				
事業概要											
【全体概要】 災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる公園・広場の整備。市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。					【業務内容】 杉原地区計画に基づく、協議会の開催及び地区計画道路の測量設計・用地買収・道路工事。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
道路・公園				道路・照明延長		m	1,650	1,650	1,650	1,650	0
				公園面積		m ²	680	680	680	680	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
道路測量設計委託 宮の池公園整備、連続照明整備 道路舗装工事				道路・照明工事延長		m	0	0	345	420	0
				公園整備面積		m ²	0	330	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
用地買収を進める 道路改良工事を進める				整備済道路・照明延長		m	885	885	1,230	1,650	0
				公園整備済面積		m ²	350	680	680	680	0
				市街地内の歩道整備延長		m	9,705	10,715	10,850	12,210	0
				市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民		%	72.5	73.0	73.5	74.0	0.0
(2) 投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	37,813	0	11,000	28,000	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	61,500	27,500	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	12,628	30,065	11,890	7,500	0	0			
事業費計(A)	千円	50,441	30,065	84,390	63,000	0	0				
人件費	正規職員	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	0	0			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	55,041	34,535	88,860	67,470	0	0			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		杉原地区まちづくり事業がH23年度で終了したが、市街化区域の道路が未整備となっているところが多くある。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成24年度から国の補助金により整備を進めている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		道路だけでなく社会基盤の整備が望まれている									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み									
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円								
0	千円								
0	千円								
0	千円								

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会資本総合交付金を活用し、社会資本総合計画を基本に事業を行っている
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街化区域であるが社会基盤整備が遅れているので、整備は止められない
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 用地買収は、地権者と交渉を行うため人件費の削減はできない
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであり適正である

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート			作成日	平成27年	6月	1日			
事務事業名	菅谷市毛線街路整備事業				事業類型	施設等整備	点検日	年	月	日	
担当部課G等	建設部 都市計画課	都市整備G	記入者氏名	澤島克彦							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適な住みよいまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える									
	基本事業名	1 幹線道路の整備									
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	04	事業名	菅谷市毛線街路整備事業	根拠法令	都市計画法、道路法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成21年度～平成30年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。						【業務内容】 都市計画道路整備のため、用地買収および道路工事 延長 L=1400m 幅員 W=16m					

1 現状把握の部(DOシート)															
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
都市計画道路 菅谷・市毛線				道路延長	m	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400					
				道路用地面積	m ²	17,097	17,097	17,097	17,097	17,097					
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
道路用地買収 道路改良工事				用地買収面積	m ²	2,693	974	218	1,204	0					
				改良工事延長	m	100	50	585	525	0					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
早期に供用開始する				用地買収進捗率	%	86	91	93	100	100					
				整備済換算延長	m	479	584	851	1,218	1,310					
				日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	%	70.52	78.20	78.20	78.20	78.20					
(2)投入量の推移															
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費							
事業費	財源	国庫支出金	千円	40,667	18,062	78,771	60,500	0	326,150						
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
		地方債	千円	33,300	14,700	84,400	49,500	0	266,700						
	その他	そ	千円	0	0	0	0	0	0						
		一般財源	千円	27,203	36,481	12,479	131,500	60,500	217,850						
事業費計(A)		千円	101,170	69,243	175,650	241,500	60,500	810,700							
人件費	正規職員	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	0	0						
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0						
	人件費計(B)	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470							
投入量(A)+(B)		千円	105,770	73,713	180,120	245,970	64,970								
(3)事務事業の環境変化・市民意見等															
①事業を始めたきっかけ		ひたちなか市の都市計画道路 金上・田彦線の整備に合わせ平成7年度菅谷市毛線の整備を開始した。													
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		経済状況は回復しつつあるが、財政状況は厳しいままであり、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。													
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		早期に完成して欲しいという要望がある。													

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート			作成日	平成27年	6月	1日			
事務事業名	上宿大木内線街路整備事業				事業類型	施設等整備					
担当部課G等	建設部 都市計画課	都市整備G	記入者氏名	澤島克彦							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適な住みよいまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える									
	基本事業名	1 幹線道路の整備									
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	04	事業名	上宿大木内線街路整備事業	根拠法令	都市計画法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成30年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。						【業務内容】 都市計画道路整備のため、用地買収および道路工事 延長 L=440m 幅員 W=16m					

1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
都市計画道路 上宿・大木内線						道路延長	m	440	440	440	440	440
						道路用地面積	m ²	6,921	6,921	6,921	6,921	6,921
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
道路用地買収 道路改良工事						用地買収面積	m ²	29	213	160	137	2,038
						改良工事延長	m	180	40	0	0	100
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
早期に供用開始する						用地買収進捗率	%	63	66	69	71	100
						整備済延長	m	225	238	279	317	407
						日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	%	70.52	78.20	78.20	78.20	78.20
(2) 投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業 費	財源	国庫支出金	千円	9,894	5,610	22,440	17,100	33,385	167,200			
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	14,200	2,700	18,300	13,900	27,300	136,800			
		その他	千円	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	10,168	4,475	950	8,500	29,815	117,500			
		事業費計(A)	千円	34,262	12,785	41,690	39,500	90,500	421,500			
人件 費	正規職員	千円	4,600	0.94人	4,470	0.94人	4,470	0.94人	4,470	0.94人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470					
		投入量(A)+(B)	千円	38,862	17,255	46,160	43,970	94,970				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			平成21年度に菅谷市毛線(第3期)の事業がはじまり、上宿大木内線(第3期)の整備が必要となった									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			経済状況は回復しつつあるが、財政状況は厳しいままであり、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			早期に完成して欲しいという要望がある。									

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	1日		
事務事業名	公園管理事業				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市整備G		記入者氏名	澤島克彦					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		2 公園の適正な管理								
予算科目	一般会計	款 07	項 03	目 06	事業名 公園管理事業	根拠法令	都市公園法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 公園緑地の管理及び施設の維持補修等					【業務内容】 公園の緑化管理 公園施設の管理						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
都市公園および開発行為で帰属された緑地				都市公園数	箇所	16	16	16	16	16	
				その他の公園数	箇所	67	70	71	72	73	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
公園内の緑化管理、遊具の点検・補修 公園内の放射線の測定				遊具の点検	回	2	2	2	2	2	
				放射線の測定	回	12	12	12	12	12	
				公園管理協定の締結	団体	24	28	30	31	32	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民が安全・快適に公園を利用できる 災害時の避難場所を確保する				公園面積	m ²	359,618	360,850	361,069	361,288	361,507	
				市民一人当たり公園面積	m ² /人	6.43	6.48	6.53	6.56	6.58	
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	29,645	31,574	38,270	38,270	38,270	38,270	0	
事業費計(A)		千円	29,645	31,574	38,270	38,270	38,270	38,270	0		
人件費	正規職員	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	0.94人	0.94人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	4,600	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470	0.94人	0.94人	
投入量(A)+(B)		千円	34,245	36,044	42,740	42,740	42,740	42,740			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			公園の整備に伴い管理が必要となる								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			公園内の遊具や緑化に対する要求が高くなっている								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			遊具の安全管理の徹底、適切な緑化管理、公園内駐車場の適切な管理等を求められている。								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	3日		
事務事業名	区画整理事業費				事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 都市計画課		都市計画G		記入者氏名	椎名健文					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		1 快適な市街地の整備								
予算科目	上菅谷駅前地区 土地区画整理事業 特別会計	款 02	項 01	目 01	事業名 区画整理事業費	根拠法令	都市計画法、区画整理法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成14年度～平成30年度)				
事業概要											
【全体概要】 JR上菅谷駅を中心とした約5.9haの土地区画整理事業を実施し、上菅谷駅周辺の都市基盤(上菅谷停車場線・上菅谷下菅谷線・駅前広場・公園等)の強化を図り、住居と商業が連携し、市の核となる中心市街地の形成を図る。					【業務内容】 建物等の移転を行い道路改良舗装工事や宅地造成工事を行う。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
地区内の住民、世帯 商業事業者			地区内の世帯数			世帯	67	70	72	74	76
			地区内の事業者数			件	16	16	17	18	19
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
建物等移転 道路改良工事 宅地造成工事			建物等移転件数			件	4	2	0	0	0
			道路整備延長			m	0	163	120	0	0
			宅地造成面積			m ²	0	2,550	401	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
生活の利便性向上。近隣商業の活性化、公共交通の利便性向上。			地区内の人口			人	235	235	235	235	235
			地区内の世帯数			世帯	67	70	72	74	76
			区画整理事業整備率			%	83.0	86.9	91.0	95.0	98.0
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	18,700	0	15,200	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	8,862	78,457	7,176	15,000	33,000	0			
事業費計(A)		千円	27,562	78,457	22,376	15,000	33,000	0			
人件費	正規職員	千円	5,740	114人	4,790	094人	4,790	094人	6,090	114人	6,090
	正規外職員	千円	0	0.00人	620	0.20人	620	0.20人	0	0.00人	0
人件費計(B)		千円	5,740	5,410	5,410	6,090	6,090				
投入量(A)+(B)		千円	33,302	83,867	27,786	21,090	39,090				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		上菅谷下菅谷線(県施行)の事業着手に合わせた上菅谷停車場線と駅前広場の整備を図るため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		限られた財源の中で事業を進めていかなければならず、より円滑な事業の執行が必要となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		上菅谷駅周辺の整備により地域活性化につながると期待がある。									

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	9日			
事務事業名	建築指導総務事務費				事業類型	一般事務						
担当部課G等	建設部 建築課		開発指導グループ		記入者氏名	岡本 哲也						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				□ 実施計画対象事業					
	施策名		7 調和の取れた土地利用を図る									
	基本事業名		1 適正な土地利用の推進									
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	01	事業名	建築指導総務事務費	根拠法令		
事業期間	□ 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 平成23年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～年度)			
事業概要												
【全体概要】 都市計画法により創設された開発許可制度により、市街化区域及び市街化調整区域の制度を担保し、併せて開発に対し所要施設の整備等一定の水準を確保させることを目的として開発許可の事務を行う。						【業務内容】 開発許可申請、建築許可申請等の受付及び許可						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・開発行為等の申請者						申請件数	件	237	190	180	180	180
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・開発行為等に関する協議、申請 ・法令等の確認 ・現地調査、書類審査 ・開発行為等の証明、承認、許可						証明、承認、許可件数	件	244	180	180	180	180
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・適正な開発で、調和の取れた土地利用を図る						証明、承認、許可件数	件	244	180	180	180	180
(2) 投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	6	7	6	6	6	6	6	6	6	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	498	0	513	513	513	513	513	513	513	
	一般財源	千円	0	388	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	504	395	519	519	519	519	519	519	519	
人件費	正規職員	千円	100	0.02人	16,030	3.56人	16,030	3.56人	16,030	3.56人	16,030	3.56人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	100	16,030	16,030	16,030	16,030	16,030	16,030	16,030	16,030	
投入量(A)+(B)		千円	604	16,425	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			従来より建築確認申請の經由事務を行っていたが、平成23年度より開発許可等の事務が県より権限移譲されたため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			変化なし									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			特になし									

